土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一般県道　瀬野呉線　交通安全施設事業に伴う測量設計業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.1	**調査位置**	広島県安芸郡熊野町新宮					**北緯**	34° 22′ 7.50″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2020年 7月 20日 ～ 2020年 7月 22日			**東経**	132° 36′ 57.60″
調査業者名	株式会社安芸建設コンサルタント **電話** 082-823-8000	**主任技師**	塩尻 道元 地質調査技士 登録番号: 第03812号	**現場代理人**	塩尻 道元 地質調査技士 登録番号: 第03812号	**コア鑑定者**	塩尻 道元 地質調査技士 登録番号: 第03812号	**ボーリング責任者**	岡田 智幸 地質調査技士 登録番号: 第20694号
孔口標高	T.P. 197.97m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	**試錐機** 東邦D-1B
総削孔長	7.00m							**エンジン**	ヤンマーNFD-12　**ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	196.52	1.45		礫混り砂		暗茶	rd2			深度0.00～0.15m間、中～粗粒砂。深度0.15～0.20m間はコンクリート基礎で、以深は釘等の廃材や、φ20～40mm程度の角礫を混入する中～粗粒砂主体。	
2	194.97	3.00		玉石混り砂礫		褐灰	rd3			L=30～50mm前後の玉石およびφ20～30mm程度の円～角礫を混入し、玉石・礫間は細粒分を少量混入する中～粗粒砂で充填される。	07/22 2.70
3	194.22	3.75		玉石混り砂礫		褐灰	rd4			同上。深度が増すにつれ礫径が大となる。	
4				玉石混り砂礫		褐灰	rd4			深度3.80m付近にL=250mm、深度4.60m付近にL=120mm、深度5.50m付近にL=120mm、深度6.70m付近にL=150mmの転石を混入し、L=40～60mm内外の玉石を点在する。基質は、φ20～30mm程度の角礫を混入し細粒分を少量含む細～粗粒砂である。	
5											
6											
7	190.97	7.00									
8											
9											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	2	2	5	9/300		
27	2.15	11	6	10	27/300		
54	3.15	12	11	27/80	50/280	280	
75	4.20	20	30		50/200	200	
50	5.15	16	14	20	50/300	300	
167	6.15	50/90			50/90	90	
750	7.00	50/20			50/20	20	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
1.45		
2.45		
3.43		
4.40		
5.45		
6.24		
7.02		

原位置試験

室内試験	削孔月日
	7/20
	7/21
	7/22